

演題で講演をいただいた後、それぞれの立場からの若手職員の教育など人材育成について熱心な討論が行われました。

ランチョンセミナーでは、早稲田リーガルcommons法律事務所 佐藤弁護士から、「病院内におけるハラスメントについて～判断の仕組みと紛争事案のご紹介～」として、ハラスメントの基本的な内容を中心にご講演をいただきました。

その他、一般口演では28題の演題で各地域、各職種での取り組みについて熱心な発表をいただきました。

今学術集会は多職種が一同に会する唯一の機会でもあり、職種を超えた情報交換や討議は大変有意義なものであり、今後の活動に大いに役立つものと期待しております。

ご参加いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

第9回宮城支部学術集会

学術集會会長：宮城県立がんセンター総長 片倉隆一



会場風景

日本医療マネジメント学会宮城支部第9回学術集會は、2015年7月18日(土)名取市文化会館にて開催されました。今回のメインテーマを「これからの患者

支援のあり方」とし、がん医療における就労支援のあり方、緩和ケアセンターのあり方、がん薬剤師外来のあり方、アピアランス外来のあり方の4題のシンポジウムに引き続き、特別講演として患者発・宮城版退院時サポートプロジェクト代表の郷内淳子さんによる「これからの患者支援のあり方－患者の視点から－」と題した講演がありました。また、ランチョンセミナーとして、これも患者支援の一つで2年前から宮城県立がんセンターと鈴木記念病院(日本で初の人工授精に成功した鈴木雅洲先生創設)との共同で開始した「がん患者における卵子凍結保存外来の現況」について、宮城県立がんセンター婦人科山田秀和先生から発表がありました。その他一般演題18題、参加者も117名あり盛会裏に終了することができました。

分科会等開催案内

2015年度医師事務作業補助者指導者養成講習会

テーマ：講義とワークショップによるチームマネジメント実践力の涵養

本学会では、2010年度より医師事務作業補助者の養成講習会を開催してきたところですが、この度学会会員の強い希望があり、昨年に引き続き、医師事務作業補助者の指導者を養成するための講習会を下記要領で開催することとなりました。本講習会は、指導者とし

て補助者を育成し、またチームのリーダーとして必要な、書類・資料作成や、登録・統計の知識と技術、マネジメント、業務連携の手法、さらに今後の展望について、講義・演習とワークショップを通じて修得し、現場で役立つ実践力を養うことを目的としています。

全課程受講者には、修了証を交付します。実務研修のために定員が限られていますので、お早めにお申込み下さい。

なお、本講習会は医師事務作業補助者の資格取得のための講習会ではありませんので、ご注意下さい。

・日時 2015年10月24日(土)、25日(日)、
11月14日(土)、15日(日)

・場所 日本医科大学 教育棟3階 講義室3
(〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)

・プログラム ※授業の順番等は変更になる場合があります。

第1クール

第1日 10月24日(土)

8:30	受付
9:20	開講式・オリエンテーション
9:30～10:30	医師事務作業補助業務マネジメントの実際
10:30～11:30	海外における医師事務作業補助業務
11:30～12:30	診療録の書き方
12:30～13:30	昼食
13:30～14:30	医療書類作成のポイント
14:30～15:30	メンタルヘルス
15:30～16:30	がん登録
16:30～17:30	NCD登録

第2日 10月25日(日)

8:20	受付
8:30～9:30	個人情報保護・情報セキュリティ
9:30～10:30	統計業務、Excelの応用
10:30～11:30	疾患と臨床用語(内科系)
11:30～12:30	疾患と臨床用語(外科系)
12:30～13:30	昼食
13:30～14:30	業務の構築と人材育成(現状と課題)
14:30～16:30	ワークショップ:業務の構築と人材育成

第2クール

第1日 11月14日(土)

9:00	受付
9:30～10:30	診療録管理
10:30～11:30	経理・秘書業務
11:30～12:30	疾患と臨床用語(産婦人科系)
12:30～13:30	昼食
13:30～14:30	疾患と臨床用語(整形外科系)
14:30～15:30	疾患と臨床用語(小児科系)
15:30～16:30	コーチング
16:30～17:30	接遇とマナー